

平成 30 年度横浜市国際交流協会 (YOKE) 事業報告：鶴見国際交流ラウンジ運営事業

鶴見区より「鶴見国際交流ラウンジ」の運営を受託し、外国人に対する相談や生活情報提供を行うとともに、多文化共生社会の実現に向けた各種の事業を行いました。

ア 多言語での情報提供・相談の実施

開設時間	月～土 9時～21時 日・祝日は、9時～17時
対応言語	中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、韓国・朝鮮語、日本語
情報提供・相談件数	3,632件

イ 日本語学習支援

(ア) 日本語ボランティア入門講座

対象：鶴見区内の日本語ボランティア活動を行う意思のある人

日時：10月4日（木）～12月13日（木） 毎週木曜日 18：30～20：45（全11回）

参加者数：24人（延べ207人）

(イ) 日本語ボランティア ブラッシュアップ講座

対象：現在鶴見区内で日本語ボランティアとして活動中の人

日時：5月19日（土）～12月4日（土） 全5回

参加者数：延べ123人

(ウ) 日本語部会の開催

区内日本語ボランティアグループ（5団体）の有志による日本語部会を開催しました（7回）

参加者数：延べ72人

※その他、国際交流ラウンジを会場に、5団体が火曜日（午前・夜間）、水曜日（夜間）、木曜日（午前）、金曜日（夜間）等に、日本語教室を開催しました。

(エ) 鶴見区役所区政推進課との共催ワークショップの実施

鶴見区内の外国人住民が、ごみの分別や防災に関する情報を的確に得ることができるよう、やさしい日本語による情報提供の方法を考えるワークショップを実施しました。

参加者数：34人（区内在住外国人、区役所職員、ラウンジで活動するボランティア含む）

エ 外国人親子カンガルーサロン

テーマにそって、日本の子育てに必要な情報や日本語を勉強しました。

日時：4月～12月 月2回（月曜日） いずれも10：00～12：00（全12回）

参加人数：外国人親子13組26人（延べ122組244人）

テーマ：入園・入学、予防接種、病気・病院、お弁当づくり、防災など

オ 外国につながる子どもの学習支援

(ア) 学習支援教室

区内の小中学校と連携して、ラウンジを会場に、外国につながる児童・生徒を対象に学習支援教室を開催しました。

参加人数：2,394人（小中学生延べ1,409人、ボランティア延べ989人）

支援教科：初期日本語、算数、英語、国語など

教室	実施日・期間
小中学生クラス	4月7日～3月16日、毎月第1・3土曜日（全20回）
中学3年生（高校進学）クラス	12月～3月、第2・4日曜日（全8回）
夏休み宿題教室	8月20日（月）～25日（土）（5日間：23日は休み）

(イ) 学習支援ボランティア研修講座の実施

今年度は学習支援教室が始まって 10 年目を向ける節目の年であったため、第 2 回目の研修講座は、これまで活動して下さったボランティアさんへの感謝状の授与と 10 年を振り返る活動を行いました。

対象：鶴見国際交流ラウンジで学習支援ボランティアを行っている人

日時：6月2日（土）、2月6日（土）

参加者数：延べ 76 人

(ウ) 鶴見区外国につながる子どもたちへの生活・学習支援関係者のための懇談会

今年もラウンジで活動するボランティアさんと、区内の小中学校の先生方との情報交換会を実施しました。

日時：11月27日（火）

参加者数：27人

カ 交流会

(ア) 3館合同まつり「夏休みオープンデーサルビアわんぱく☆ランド」

鶴見国際交流ラウンジ・鶴見中央コミュニティハウス・サルビアホールの協働イベント

日時：7月23日（土） 10：00～17：00

内容：遊び広場（けん玉）、外国の屋台、世界のお茶とお菓子、外国人による日本語スピーチや演劇など、外国人こども向け学習支援教室の見学、ラウンジ利用団体によるパネル展示、ピニャータ（南米で主に誕生日などに割るお菓子入りのくす玉）割りなど

参加者数：2,000人（イベント全体の入場者数）

(イ) その他の交流会イベント（年2回）

実施日	テーマ・内容	参加者数
11月24日（土）	ふろしきワークショップ	30人
1月14日（土）	狂言ワークショップ	21人

(ウ) 多文化共生フェスタ 2019—つるみクロッシング—の実施

鶴見区民文化センター音楽ホールで、区内在住の外国人グループによる文化紹介や、外国につながる若者による発表などを行いました。また、第7回アフリカ開発会議開催の告知イベントとして、ラウンジ研修室でアフリカの民族衣装や楽器の展示を行いました。

日時：3月3日（日）12：00～16：00

内容：エイサー、ペルーの民族舞踊、カポエイラ、朝鮮舞踊、琉球民謡、カメルーンの暮らしと文化紹介、中国につながる若者の発表、南米につながる若者のパフォーマンスなど

来場者数：200人（延べ）

キ ホームページによる多言語情報提供

国際交流ラウンジの事業内容を PR するため、7 言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ハンデル、タガログ語、日本語）でホームページにより情報提供を行いました。加えて、鶴見区内の催物などの情報 24 件を 6 言語に多言語化しホームページで告知を行いました。

ク ラウンジ情報紙「手をつなごう！つるみ」の発行

発行：4月、7月、10月、1月（年4回）

言語：英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ハンデル、タガログ語、日本語（7言語）

配布：区役所、学校、駅、エスニックレストランなど

部数：2,500部

ケ 「おしゃべり会」の実施

外国人と日本人との身近な場面での交流を目的として、日本の文化などのさまざまなトピックについて日本語でお話をする「おしゃべり会」を年6回実施しました。

日時：4月26日（水）～3月6日（水）の間、隔月計6回

参加者数：延べ46人

内容：鶴見区内の見どころ、七夕、防災、自国の歌と踊り、お正月、ひな祭り

コ 暮らしのガイダンス

外国人に対して、日本の制度・サービスについて理解していただくため、ガイダンスを実施しました。

実施日	テーマ・内容	参加者数
4月7日（土）	小学校ガイダンス	8人
10月15日（月）	小児救急ガイダンス	18人

サ 団体への研修室の貸し出し

登録団体に研修室の貸し出しを行い、研修室を活用した日本語教室等が開催されました。

登録団体数：49団体

ラウンジ利用人数：16,833人

シ ラウンジ利用者会議

ラウンジ利用団体の連携による多文化共生の推進と地域で活動する団体のニーズ把握を目的として、ラウンジ利用者会議を実施しました。

日時：3月26日（火）

参加団体数：9団体

ス 外国につながる子どもたちに対しての母語・母文化継承についての多様な機会の提供

外国につながる子どもたちの母語継承のために、鶴見図書館と連携して中国語による絵本の読み聞かせ会を実施しました。また、外国につながる大学生の先輩の話を聞く会を実施しました。

実施日	テーマ・内容	参加者数
6月2日（土）	先輩の話を聞く会（中国語）：日本語の勉強の仕方と進路選択について（中学生対象）	20人
8月21日（火）	中国語絵本の読み聞かせ会	30人
8月22日（水）	先輩の話を聞く会（中国語）：日本語の勉強の仕方と進路選択について（小学生対象）	20人
1月5日（土）	ブラジルの生活と文化についての絵本の読み聞かせ	20人
3月2日（土）	中国語絵本の読み聞かせ会	25人
3月3日（日）	多文化共生フェスタ2019での自分のルーツについての発表	10人